

委託事業実施内容報告書

平成22年度「生活者としての外国人」のための日本語教育事業

【日本語教室の設置運営】

受託団体名 株式会社 日本ラチーノ学院

1 事業の趣旨・目的

滋賀県に在住する日系ブラジル人を主に対象として日本で生活する上で必要な日本語や文化・習慣を学習し、習得することにより日常生活において地域社会の日本人との交流が円滑に行われ、子どもたちの日本語のレベルアップと各教科の理解度を深めるように指導することにより、子どもたちの進学や入学の適応能力を高めるようにする。

一般社会人で日本語の不得手な人には初歩から指導しながら分り易く日本語への興味を引き出すように学習を進める。日常生活における生活場面を想定した会話や情報を読み取る能力を養成し、この教室で学んだことが日本で進学や就職をする場合に役立ち、進路の選択の領域が広がって行くことを目的とする。

2 運営委員会の開催について

【概要】

開催日時	開催場所	出席者	議題	会議の概要
4月3日	日本ラチーノ学院事務室	中川宜一 中川美子	講座(教室)の見学 教室の実情 受講生の送迎 日本語レベルの把握	コーディネーター山本晴夫より実情報告 指導方法を確認 広報活動の具体的方法
8月27日	日本ラチーノ学院教室	中川宜一 中川美子	夏季休講日 フェスタジュニーナ 学習の進捗度 指導方針・内容	教授者古川ノエミより実情報告 進学・就職について 学習指導方法の検討 今後の教室運営
10月9日	日本ラチーノ学院教室	中川宜一 中川美子	教室見学 学習の効果の実態 学習意欲の度合い 教室継続	帰国者の教育問題 公立学校転校・進学 総括と今後の計画 就職相談

【写真】

平成22年4月3日の運営委員会の風景(写真⑨)

出席者 中川宜一、中川美子、山本晴夫、(撮影者:千葉ルイザ容子)

3 日本語教室の開催について

① 日本語教室の名称

日伯交流教室

② 開催場所

滋賀県近江八幡市出町 123 番1 日本ラチーノ学院の教室および施設

③ 学習目標

日常生活に必要な日本語会話の基礎力の養成

ひらがな・カタカナ・漢字の段階的習得

日本の文化・伝統・習慣・歴史感覚を身につける

日本の小学生低学年相当の国語・社会を理解する。(就学年齢相当者)

中学生・高校生高学年相当者は日本語能力試験や希望職種の資格取得を目標

④ 使用した教材・リソース

はじめてかくひらがな(上)(下) ただしくかくひらがな(上)(下)

はじめてかくカタカナ ただしくかくカタカナ(学習教育出版発行)

こどものにほんごⅠ、みんなの日本語初級Ⅰ、初級で読めるトピック25

(スリーエーネットワーク社発行)

アルファベット・日本語を楽しく学ぼう(アルファネットワーク社発行)

プログレシブ日本語 初級(日伯文化連盟発行)

メウ・アミーゴ・カンジ(東京外大 多言語・多文化教育研究センター発行)

⑤ 受講者の募集方法

1. 前回受講した学習者へ参加を呼びかける。

2. 日本ラチーノ学院の生徒へ希望者を募る

3. ブラジル人コミュニティへ参加希望者を募る。

(上記対象者に口頭や受講募集チラシを郵送して受講を勧誘する。)

⑥ 受講者の総数 22 人 (延べ人数ではなく、受講した人数を記載すること。)

(出身・国籍別内訳 ブラジル国 22人)

⑦ 開催時間数(回数) 104 時間 (全52 回)

② 日本語教室の具体的内容

回	開催日時	時間数	参加人数	国籍・母語（人）	教授者・補助者人数	内容
1 か ら 8	4月3日 10:00~12:00 初級クラス1組 中級クラス1組 の2クラス編成 4月10日 4月17日 4月24日	初級者 2時間 中級者 2時間 計4時間 以後同様	15人 17人 18人 19人	ブラジル国・ポルトガル語（15人） 全員ブラジル国・ポルトガル語、以後同様	教授者5人 補助者1人 以後同様の体制で開講する。	初めてのひらがな 易しい漢字 能力に応じた担当者決定 学習教育出版の教材を使用 あいうえお書取練習 子どもの日本語、発音練習
9 か ら 18	5月1日 10:00~12:00 初級クラス1組 中級クラス1組 5月8日 5月15日 5月22日 5月29日	初級者 2時間 中級者 2時間 計4時間 以後同様	19人 20人 20人 20人 20人	全員ブラジル国ポルトガル語、以後同様	教授者5人 補助者1人 以後同様	能力別グループによる指導 正しく書くひらがな 子どもの日本語 スリーエーネットワーク社教材も使用 正しく書くカタカナ 漢字の練習 言葉を学ぶ会話
19 か ら	6月5日 10:00~12:00 初級クラス1組 中級クラス1組 の2クラス編成 6月12日	初級者 2時間 中級者 2時間 計4時間 以後同様	21人 21人	全員ブラジル国ポルトガル語 以後同様	教授者5人 補助者1人 以後同様	みんなの日本語 生活場面の会話 言葉を習う会話 アルファネットワーク社教材 小学1年の国語

26	6 月 19 日	同様	21 人			みんなの日本語 言葉を学ぶ会話 文章を読む
	6 月 26 日		21 人			日常会話の練習 日本の習慣
27 か ら	7 月 3 日 10 : 00 ~ 12 : 00 初級クラス 1 組 中級クラス 1 組 の 2 クラス編成		22 人	全員ブラジル国 ポルトガル語 以後同様	教授者 5 人 補助者 1 人 以後同様	文章を読む みんなの日本 語初級 小学 1 年国語 東京外国語 大学の教材 文章を考える 日本の歴史 日本の文化 生活場面会話 学習言語 文章の作成
	7 月 10 日		22 人			日本人と交流
	7 月 17 日		22 人			
	7 月 24 日		22 人			
	7 月 31 日	休講日		フェスタに自由参加		
35 か ら	8 月 7 日 10 : 00 ~ 12 : 00 初級クラス 1 組 中級クラス 1 組 の 2 クラス編成		22 人	全員ブラジル国 ポルトガル語 以後同様	教授者 5 人 補助者 1 人 以後同様	かんせいひら がな みんなの日本 語初級 草刈ボランテ ィア 易しい会話 日伯文化連盟 の教材も使用 かんせいひら がな 中級へいこう
	8 月 14 日	休講日				
	8 月 21 日		22 人			
	8 月 28 日	休講日				

39 か ら	9月4日 10:00~12:00 初級クラス1組 中級クラス1組 の2クラス編成 9月11日 9月18日 9月25日		22人 22人 22人	全員ブラジル国 ポルトガル語 以後同様	教授者5人 補助者1人 以後同様	易しい文章 文法 日本語だけで 会話 初級で読める トピック25 易しい漢字 生活言語 作文をかく 自分の将来 日本語で会話 漢字の書取 日本語で会話 履歴書を書く みんなの希望
47 か ら	10月2日 10:00~12:00 初級クラス1組 中級クラス1組 の2クラス編成 10月9日 10月16日		21人 22人 22人	全員ブラジル国 ポルトガル語 以後同様	教授者5人 補助者1人 以後同様	漢字を書く 作文将来の夢 履歴書を書く 日本語で会話 問題集を解く 日本語能力試 験3級解説 語彙の理解 初級で読める トピック25 文章を聞く 文章を読む 文章を書く 教室再開の希 望を聞く

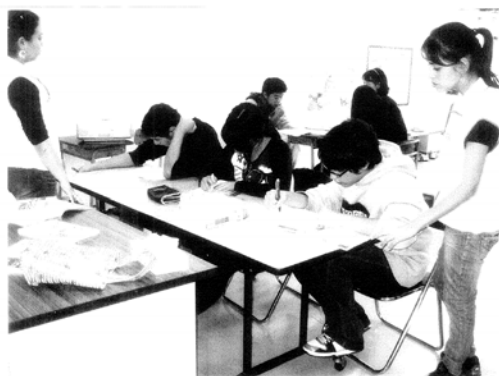
⑨ 特徴的な授業風景(2～3回分)

1. 来日して8ヶ月足らずのローザさん(主婦、仮名)は殆ど日本語が分らないので日常生活でのコミュニケーションがうまく取れないので何とか日本語を覚えようと毎週かかさず受講しています。ハリー先生が初歩のアイウエオから個人レッスンを加えて熱心に指導した結果、日常会話での初歩的会話は理解できるようになり、今はひらがな・カタカナを覚えようと学習を続けています。(写真①)



2. 子どもの日本語能力に応じたグループに分けて集中的に学習の指導をします。

古川教授者、上村教授者、が中級クラスの指導を担当します。(写真② ③ ④)



3. 初級クラスの子どもたちの指導は亀谷教授者、井上教授者が分り易く指導します。

(写真⑤ ⑥)



⑩ 活用した日系人等(日本語を母語としない)の名簿

氏名	母語(国籍)	来日年(日)数	参加回数	当該教室での役割
古川 ノエミ	ポルトガル語	20年	26回	教授者の責任者
上村 ミリアン	ポルトガル語	7年	26回	教授者
ハリーウイリアン	ポルトガル語	15年	26回	教授者
亀谷 タチアナ	ポルトガル語	17年	26回	教授者
千葉 ルイザ 容子	ポルトガル語	19年	26回	補助者

⑪ 支援者の名簿(⑩以外)

氏名	所属	専門分野及び日本語教育に関する資格	参加回数	当該教室での役割
井上 久代	国際交流センター 日本語講師	京都府教育委員会の 国語教師免許有	26回	教授者
田中 美果	在日ブラジル商業 会議所・関西エリア 責任者	京都外国語大学 ブラジルポルトガル科 卒業 在伯歴2年	2回	アドバイザー
山本 晴夫	日本ラチーノ学院 事務局長	ブラジル人学校教員 の指導経験12年 在伯歴22年	12回	コーディネーター

4 事業に対する評価について

① 当初の学習目標の達成状況

今回のこの教室の学習指導方法は各受講生の能力に応じたプログラムで指導したので各個人の日本語の理解度を深めることが出来た。成人(社会人)の学習者6人は初級者クラスであるが、その内の一人は来日後2ヶ月なので、最初は日本語が全く分らない状況であったが、この教室での学習により生活用語は理解できるようになり、日常生活において日本語を使う機会が増し、本人も学習に興味を示していて楽しく学習が出来ている。成人の内3人は来期教室の継続受講を希望しているので今後の上達が期待出来る。初級者クラスの小学生低学年のクラスも易しい漢字を宿題にも加えた反復書取り練習などで習熟度は相当程度まで高めることが出来た。小学生高学年・中級者クラスの中学生高校生クラスの受講生には日本の文化。習慣。エチケットなども場面を想定して分りやすく指導した結果、日本語能力に個人差はあるが、学習による成果は顕著である。

日本語学習の習熟度の高い受講生の内4名が本年12月に実施される「財団法人日本国際教育支援協会」の日本語能力試験を受験することになり全員合格が期待できる。

② 学習者の習得状況

小学生入学相当の子どもたちは学習の目的意識が希薄なので学習がおもしろいものでなければ興味を持たないのでCDによるアニメなどの映像を用いて、遊びの中に日本語を取り入れて、興味を引き出すことを優先して指導した結果、初歩の生活用語の会話力やひらがな、カタカナの書取は小学生1年の初期の内容は相当程度理解できる能力を持つことができた。

中学生、高校生相当の学習者は既に保持している日本語能力に差があるので能力に応じた学習を担当教授者がマンツーマンで指導することにより習熟度を増すことができた。

一般社会人は日本語の必要性を生活のなかで感じているので、総じて熱心に学習をする意欲があり、教授者も生活に必要な会話の理解度を深めることができた。

③ 日本語教室設置運営の効果、成果

日本での生活や通学をする上での日本語の必要性や、自分の将来の展望を考えれば日本語は不可欠であることを、受講生たちが認識し、今後も継続して日本語のレベルアップを目指して学習をしてゆく意欲が芽生えたことが効果であり、成果は試験の結果や今後の進路に期待が持てることにある。

④ 地域の関係者との連携による効果、成果 等

財団法人近江八幡市人権センターの主催する「虹の架け橋教室」に子どもを紹介し、入室して日本語の学習を続けている。またバイリンガルの指導者を派遣して連携を深めている。近江兄弟学園の小学生との交流も生まれており今後の交流が広がる事が期待できる。

7月のフェスタジュニーナの開催時に地域の人や、団体(教育委員会、ロータリークラブ、青年会議所、ブラジル人地域代表者、地域小学校関係者)などを招いたことによりこの教室や日本ラチーノ学院の存在や活動を今まで以上に認識してもらう事が出来た。

⑤ 今後の課題について(具体的に記述する。)

a. 現状

毎週土曜日に午前10時から2時間の学習時間では時間的に少ないので、指導力を効果的に発揮するには短くて、一週間の間が空きすぎであるため、子どもたちの集中力が途切れてしまうことがあるので日曜日の開催や時間を延長して昼から開催も行いたいのですが課題も多くあるので何とか工夫をしたいと考えている。

滋賀県は交通のアクセスが不便であり、県境からの教室までの公共交通機関による移動時間は待ち時間を考慮すると片道90分ほどかかるので車による送迎が必要であるが経費が掛かりすぎるのが負担になる。

教授者ほか補助者たちもこの2時間のため毎週1回出勤して、熱意を込めて学習指導をして頂きました。事故もなく無事に終了したことに感謝しております。

b. 今後の課題

期間内の学習時間を増やしてより充実した学習指導内容を構築して子どもたち個人、個人の進路の希望に沿うことの出来る日本語教室を目標としているが、指導者などの疲労度や休日の私的時間の奪取を考慮するとやはり土曜日の時間延長を実施することが出来ればベストである。

車による送迎については現状より効率的な方法を模索しているところであるが少人数でもあり、子どもの住所がバラバラなので難しい面が多くある。

教授者ほか補助者たちも教室への往復は平均75分かかかるので2時間の指導時間では非効率的なので3時間から4時間の指導時間に変更できれば学習効果が増大すると思われるが、予算的な面や休日の時間調整等の課題もある。

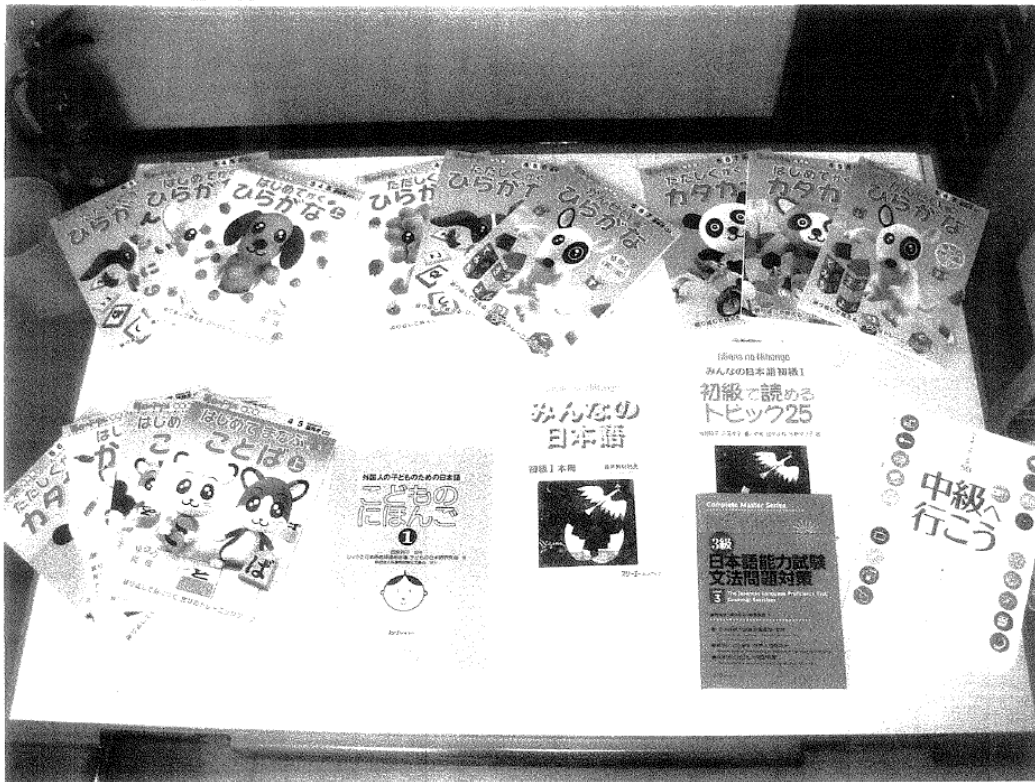
c. 今後の活動予定, 展望

この教室で半年間学習した子どもたちの内、数名は引き続き日本語の学習を望んで居り、また一般社会人にも希望者が居ることは既にブラジル人コミュニティへの働きかけで把握しているので、今まで培ってきたノウハウを活用してよりスキルアップした教室を開設することが可能なので是非とも23年度の「生活者としての外国人」のための日本語教育事業には募集したいと考えている。

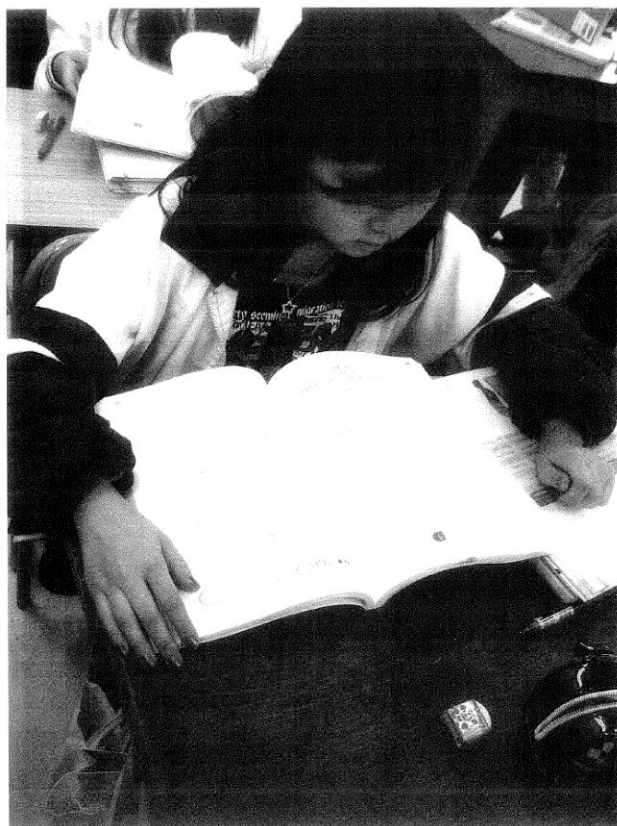
③その他参考資料

使用教材の写真(⑦)

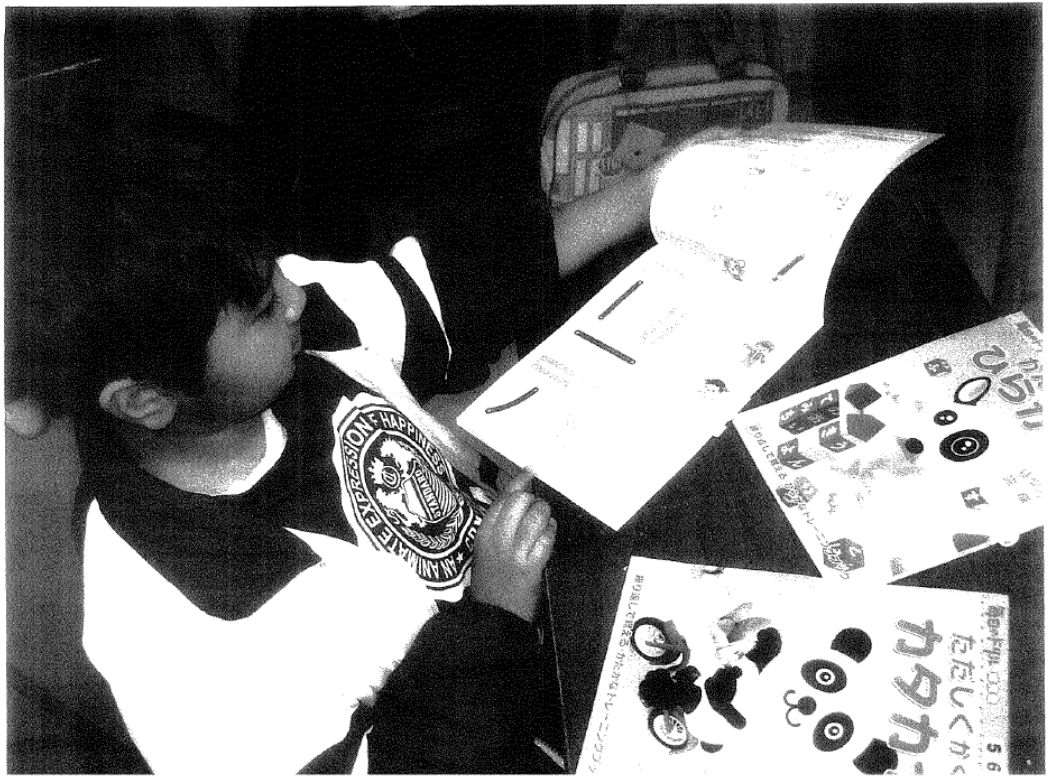
学習する子どもの様子(写真⑧ ⑨) 募集のチラシ(写真⑪ ⑫)



⑦



⑧





COLÉGIO LATINO

PARA UMA MELHOR CONVIVÊNCIA E INTEGRAÇÃO
NO JAPÃO...

日本語を学ぼう！

APRENDA A LÍNGUA JAPONESA!

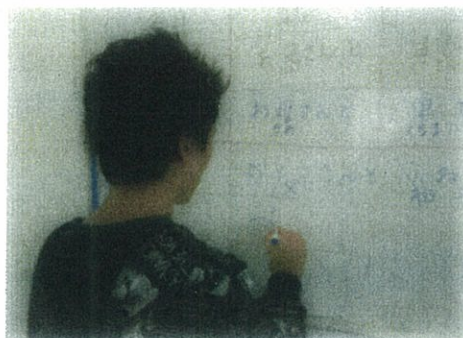
- ✓ Amplie as oportunidades de emprego!
- ✓ Melhore sua convivência!
- ✓ Aumente seu círculo de amizade!

CURSO GRATUITO!

- ✓ NÍVEL BÁSICO
- ✓ NÍVEL INTERMEDIÁRIO
- ✓ NÍVEL AVANÇADO



TODOS OS SÁBADOS DAS 10:00 AS 12:00 HORAS.



Nippaku kouryuu kyousitsu

Maiores informações pelo telefone:

(0748) 31-3477

Centro latino de convivência

523-0892 Shiga-ken omihachiman-shi demachi 123-1

APRENDA JAPONÊS E FACILITE A SUA VIDA! COLÉGIO LATINO DO JAPÃO NIPPAKU KOURYU KYOUSHITSU DE MANABOU

Fachada do Colégio Latino (Prédio atual)



Intercâmbio com a Escola Japonesa



GRATUITO APRENDA JAPONÊS NO COLÉGIO LATINO! PRONUNCIE CORRETAMENTE O IDIOMA JAPONÊS!

- ✓ Em Shiga, moram 14.000 nikkeis. A maioria trabalha em fábricas, porém, por não saberem japonês, têm o prejuízo de não receber um salário adequado.
- ✓ As crianças devem criar laços e amizades com os japoneses para seus futuros. E aprender japonês suficiente para poder conviver naturalmente na sociedade japonesa.
- ✓ O Colégio Latino oferece professores especializados, ensinando desde crianças até adultos nikkeis.
- ✓ O ensino é totalmente gratuito, portanto matriculem-se à vontade!